

特別講演

私の“ものづくり”履歴書 -化学と生物の狭間で-

微生物・植物・動物のホルモンとフェロモンなど生物活性物質を合成する方法について概説し、合成達成が生物学と生物産業にどう貢献したかを紹介していただきます。

日時：平成25年9月7日（土） 14：00～17：00
(質疑応答など16：30まで)

場 所：山口大学 吉田キャンパス
農学部本館4階 第6講義室

講 師：北原 武 先生（東京大学名誉教授）

参加費：無料 8月30日（金）までに裏面申込票にて
お申し込みください。

*講演後、学内の食堂「きらら」にて交流会を行います。

交流会参加費：一般4,000円、学生1,000円

講師の紹介



“ものづくり”は面白い。が、合成出来たら完結するのではなく、手にしてから先の展開が重要である。“もの”が生物活性物質ならば、生化学、微生物学、植物生理学、動物学等々関連する生命科学諸分野の研究者と共同研究することにより、構造活性相関、機能解析、新機能の発見など基礎的な研究から、新規な有用生物活性物質の創製と実用化といった応用に至る迄の広範な成果が生まれる。北原武氏は、生物活性物質の合成研究に携わって半世紀近くになるが、特に植物生理・保護関連物質、酵素阻害剤、細胞周期阻害剤等の多彩特異な天然有機化合物の合成研究を行ってきた。演者は、その間に数々の失敗や難関と遭遇し、これらのネガティブデータの中から転機を探し出し、目的を達成した経験を持つ。そのターニングポイントはどこだったのか。今回は、半世紀にわたって第一線で活躍を続け、実験台に向かっていて自分の手と目で体験した事実を中心に、“ものづくり屋”としての想いを語っていただく。

後援：山口大学 大学研究推進機構 産学公連携センター

問い合わせ・申し込み先：

- 1) 山口大学 大学研究推進機構 産学公連携センター
TEL:0836-85-9961 FAX:0836-85-9962
E-Mail: yuic@yamaguchi-u.ac.jp
- 2) 山口大学 農学部 生物機能科学科 教授 赤壁 善彦
TEL:083-933-5851 E-Mail: akakabe@yamaguchi-u.ac.jp